

afimp.

auto
fashion
import

2001
MARCH
650YEN

3

次号4月号は2001年3月14日(水)発売



新作 **AERO STYLE 2001**

MS Design smart/Carlsson MercedesBenzC-Class/
HARTGE BMW E46/ZENDER AUDI TT Roadster/etc.

新世紀を彩るニューフォルム競演!!

DRESS UP REPORT in GERMANY

HEICO スウェーデン生まれのボディに
ドイツ仕込みのテイストをビルトイン

ROADTEST

VOLVO S60/SAAB 9-3 AERO 2.0TS

SAAB9-5 Griffin 3.0t Estate

BMW Z3 2.2i/PEUGEOT 206CC

LANDROVER FREELANDER

NEW OPEL VITA DEBUT!

Exciting Impression

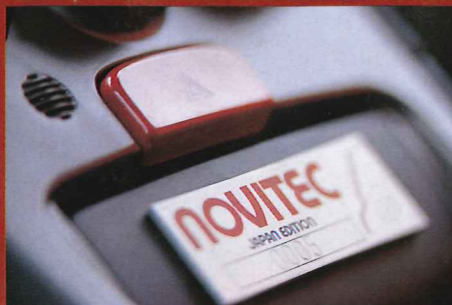
NOVITEC

156 Sportwagon turbo 16v

イタリアの美しいスポーツワゴンは ターボという禁断の木の實を手に入れた

ドイツ・ステッテンに拠点を置くノヴィテックは
アルファロメオとフィアットをメインとするチューナー。
排気量アップではなく過給器によるチューニングを得意とし、
かなり過激なコンプリートモデルを発表している。
そんなジャーマン・ラテンチューナーから
ターボチャージド・スポーツワゴンが上陸。
その美しいスタイリングに秘められた実力はいかに？

REPORT/高根英幸 PHOTO/馬場達二





NOVITEC

BIAL



158

2.0 T8P

静岡 330
せ 10-85

NOVITEC

見

た目は、そうノーマルと変わりない、真紅のアルファ156スポーツワゴン。フロントにリップスポイラーを備え、17インチのアルミホイールを履いてやや大胆にローダウンしているくらいのものだ。キーをひねるとエンジンは普通に走り出した。

発進はややかたらく、アルファらしいピクアップの鋭さもいささか削がれている。けれども2500rpmを超えるあたりから元気をみせ始めたエンジンは、3000rpmを超えると急激に力強くなる。2リッターエンジンとは思えない強烈なトルクを

生じて、グイグイとクルマを引っ張っていくのだ。

ノヴィテック。ドイツの南、ステットンにあるこのチューナーは、エンジンがあるのルーフ出身ということもあって、技術力の高さはもちろん、NAのイタリア車に積極的にターボパワーを与えるメニユーを用意するとしてヨーロッパでは知られた存在だ。

これまで日本ではマフラーやサスペンション、アクセサリーといったファインチューンのためのパーツしか販売されていなかったから、ピンとこないかも知れないが、実体はバリバリの実力派チューナーなのである。



もノヴィテックによってターボチャージヤがビルトインされている1台。ノヴィテック・ジャパンによりコンプリートカーとして販売されるモデルだ。

高出力に合わせた吸排気系の容量増大とタービンの抵抗によって、2500rpmより下では少々頼りない。もっともノーマルのエンジンとてトルク感が大きい方ではないから、ピクアップが鈍くなってしまうたのさえ我慢すれば、3000rpmから上は溢れるようなトルク

による豪快な走りを楽しむ。パワーバンドでのフィーリングは、回転フィール、トルク感とも絶品で、5速MTのシフトワークでどの速度域でもパワフルな走りも味わえるのだ。

取材日は生憎の雨。ウエットでスリッピーなワインディング、しかもセクタールラインにはキッツアイがギツシリと並ぶ可愛げのないステージでは、このパワフルな156を乗りこなすのは容易じゃない。コーナーではキツチリとスピードを落とし、ブレーキングとステアリングのバランスを探りながら丁寧にかつ素早いドライビングを行なうことが求められる。立ち上がりでは横方向へのグリップ力が減っていくのを確認しながら、スロットルを踏み込んでいく。それでもわずかでも横Gが残っていれば、容赦なくイン側のタイヤがホイールスピンを起こすのだ。けれどもたとえドライドであっても、この状況に変化はあまりないだろう。アペレージスピードが全体として高まるだけで、タイヤが悲鳴を上げること

に変わりはないからだ。トラクション・コントロールが欲しいなんて思うようなら、ノヴィテックに乗る資格はない。この暴れるほどのパワーを操り、アクセルとステアリングワークでクルマをコントロールすることに喜びを感じるドライバーこそ、ラテンのクルマを乗りこなさず、チューニングすることができないのだ。実際、かなりの集中力を強いられるもの、ドライビングは楽しい一言に尽きる。

ノーマルより明らかに背圧が高い、甘い低音が響くエキゾーストも気分を盛り上げるし、ターボ独特の吸排気音も加速時の快感を倍増してくれる。ただし弱点もないわけではなく、これはベース車両の個体差の問題も影響しているのだから、ボディ剛性から起因するあらゆる部分の剛性感が不足気味だ。路面からの衝撃を受けるボディの剛性感から、ステアリング回りの剛性不足はサスペンションチューニングの限界を自ずと定めてしまう。スロットルの開閉に伴うエンジン回りのスナッチも、ドライビングを難しいものにしてるのは否定できない。本気で走りを目指すなら、156でもこのスポーツワゴンではなく、セ

Exciting Impression

NOVITEC

156 Sportwagon turbo 16v

専用のサスキットで低められた車高とフロントリップにより、その佇まいはかなりの存在感を放つ。



ラテンとジャーマンの コラボレーションが生んだ スポーツするワゴン

●コンプリートカー(車両本体価格) ¥4,980,000
◎ノヴィテック・ジャパン ☎03-3551-7980

DETAIL

ノヴィテックの手によりリフトアップされた207mmインスパークエンジン、218hp/5600rpm、35.5kgm/4150rpmを発揮。最高速は244km/hをマークする。このチューニングプログラムは、現時点ではコンプリートカーのみでの提供となっているが、今後はキット化も考えられているという。

「ターボだなんてもっての他。NAこそアルファだ」という考えはこの際脇へ置いておいた方がよい。このターボチャージド・スポーツワゴンは、じゃじゃ馬を操るような楽しさをドライバーに与えてくれるのだ。ラテンのテイストは弱まるどころか、むしろ強まっている。このテイスト、アルフィスタこそ味わって欲しいものだ。

ノヴィテック・アルファロメオの文字がペダルには、ホイールはN5と17インチ。エキゾーストはステンレス製で、乾いたサウンドが特徴的だ。

